

協働事業評価シート(案)

- ・協働事業 自己評価シート(案)
- ・協働事業 相互評価シート(案)
- ・相互評価集計シート(イメージ)
- ・協働事業の評価に関する意見交換会ヒアリングシート(案)
- ・協働事業 第三者評価シート(案)

協働事業 自己評価シート(案)

団体側自己評価 市側自己評価

事業名称				
事業実施者	市民			記入者
	市	部	課	
事業目的				
事業内容				
事業目標				
役割分担	※役割分担表を添付してください。(書式は自由です。)			

5段階で評価してください。
 5=十分に達成された(80%以上)、4=ほぼ達成された(60%~80%)、3=課題があるものの概ね達成された(40%~60%)、2=ほぼ達成されなかつた(20%~40%)、1=まったく達成されなかつた(20%以下)、N=事業の性質上、この評価項目は不適当

■プロセスの相互チェック

①事業計画段階		平均値	0 合計点	0 / 35	評価
1	自分たちが達成すべき目的や課題について、よく話し合い、共有することができましたか。(目的共有)				
2	ニーズを把握して共有するとともに、事業の必要性や協働の必要性を相互に理解したうえで、目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。(目的共有)				
3	協働の相手方と一緒に協働事業を行う事の意義や効果、費用に対する効果を相互に検討・確認することができましたか。				
4	会計のルールやお互いの組織内部のスケジュールなどの取り決めなどの組織の違いやお互いの立場を話し合って、よく理解することができましたか。(相互理解)				
5	事業を実施するにあたり、それぞれ何ができるかを考え、得意なことや苦手なことを話し合い、特性を活かすことができるよう、役割分担を行い、役割分担表を作成しましたか。(対等)				
6	お互いが役割や特性を自覚して、自主的な事業展開ができるような事業計画をつくることができましたか。(自主性尊重・自立化)				
7	継続事業の場合には、前回実施した事業の検証結果を十分に反映して、事業計画をつくることができましたか。				

②事業実施段階		平均値	0 合計点	0 / 20	評価
8	率直な意見交換を行い、お互い対等な立場で事業を進めていますか。(対等)				
9	お互いの特性や立場の違いを理解し、お互いの強みや得意分野を、どのようにしたら生かし合えるかを相談しながら取り組んでいますか。(自主性尊重・自立化)				
10	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して事業の進捗状況についてチェックを行い、必要に応じて修正しながら取り組んでいますか。(対等)				
11	必要に応じて話し合いの機会を設けるなど、情報共有を図りながら取り組んでいますか。(情報共有)				

③事業終了(ふりかえり)段階		平均値	0 合計点	0 / 20	評価
12	率直な意見交換を行い、お互い対等な立場で事業を進めることができましたか。(対等)				
13	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して情報共有をしながら積極的に取り組むことができましたか。(対等)				
14	お互いの特性や立場の違いを理解し、お互いの強みや得意分野を、どのようにしたら生かし合えるかを相談しながら取り組むことができましたか。(自主性尊重・自				
15	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。				

■事業の成果

16	目標達成度	評価	(自由記入欄)		
17	対象者満足度	評価	(自由記入欄)		
18	事業実施者満足度	評価	(自由記入欄)		
19	相乗効果は得られたか	評価	(自由記入欄)		
20	予算や人的資源規模	評価	(自由記入欄)		
総合評価		評価 (合計)	0	(自由記入欄)	
		(平均)	0		
7	今後の課題				
8	改善案				
9	その他自由記入欄				

協働事業 相互評価シート(案)

事業名称	0			
事業実施者	市民 市 部	0 課	記入者 係	0 0
事業目的	0			
事業内容	0			
事業目標(成果)	0			
役割分担	※役割分担表を添付してください。(書式は自由です。)			

■プロセスの相互チェック

5段階で評価してください。
 5=十分に達成された(80%以上)、4=ほぼ達成された(60%～80%)、3=課題があるものの概ね達成された(40%～60%)、2=ほぼ達成されなかった(20%～40%)、1=まったく達成されなかつた(20%以下)、N=事業の性質上、この評価項目は不適当

①事業計画段階

	市民 (平均)	市 (平均)	評価
目的共有の原則、対等の原則、相互理解の原則、自主性尊重・自立化の原則等協働の原則を踏まえて実施ができたか。 (特筆すべき点や工夫した点などがあればご記入ください。)			

②事業実施段階

	市民 (平均)	市 (平均)	評価
情報共有を図りながら、互いの強みや得意分野等を生かしながら実施ができたか。 (特筆すべき点や工夫した点などがあればご記入ください。)			

③事業終了(ふりかえり)段階

	市民 (平均)	市 (平均)	評価
情報共有を図りながら、互いの強みや得意分野等を生かしながら実施ができたか。 (特筆すべき点や工夫した点などがあればご記入ください。) (意見)			

■事業の成果

目標達成度			市民 (平均)	市 (平均)	評価
対象者満足度			市民 (平均)	市 (平均)	評価
事業実施者満足度			市民 (平均)	市 (平均)	評価
相乗効果は得られたか			市民 (平均)	市 (平均)	評価
予算や人的資源規模			市民 (平均)	市 (平均)	評価
総合評価			市民 (平均)	市 (平均)	評価
今後の課題					
改善案					
その他自由記入欄					

相互評価集計シート(イメージ)

協働事業の評価に関する意見交換会ヒアリングシート(案)

事業名称	0		意見交換会開催日	
出席者	団体	0	市	0
担当委員				
事業目的	0			
事業内容	0			

事業の中での協働の視点	
よかつたところ	
工夫した方がよいところ	
疑問点	
よりよい事業となるための提案	
その他意見	

評価	
理由	

評価項目

協働事業として適切で優れないと評価できる。

協働事業として適切であるが、一部改善することで、さらなる発展が期待できる。

協働事業として概ね適切であるが、一部改善の必要がある。

協働事業として取り組むにはかなりの改善が必要である。

協働事業としては不十分であった。

協働事業 第三者評価シート(案)

事業名称	0		
事業実施者	団体	0	市
事業目的	0		
事業内容	0		

1 評価結論	※評価結論には次の5項目から選択。
2 事業について	
3 意見交換会を踏まえて	
4 まとめ	

※評価結論には次の5項目から選択。

協働事業として適切で優れていますと評価できる。

協働事業として適切であるが、一部改善することで、さらなる発展が期待できる。

協働事業として概ね適切であるが、一部改善の必要がある。

協働事業として取り組むにはかなりの改善が必要である。

協働事業としては不十分であった。